

☆★「こうべバイオガス」が新エネ百選に認定されました★★☆

このたび神戸市の「こうべバイオガス」活用事業が経済産業省と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の新エネ百選に選定されました。

新エネ百選とは

地域の特性などを考慮した全国の新エネルギー等利用などの取り組みを評価し、47 都道府県からもれなく、優れたものを「新エネ百選」とし、これを広く情報発信することで、各地域における新エネルギー導入の好事例として新エネルギーを全国に広めていくことを目的としています。また、今回が初めてであり、「こうべバイオガス」を含め、全国で100の事業が選定され、2009年6月1日、東京国際フォーラムにて認定書が授与されました。

「こうべバイオガス」活用事業の内容とは

神戸市では、下水の処理過程で発生する消化ガスを、従来から処理場内のボイラーや空調の燃料に使用し、残りの約5割については余剰ガスとして焼却していました。

消化ガスの更なる有効利用について検討を行った結果、都市ガスとほぼ同等の品質で天然ガス自動車の燃料として活用できる、メタン濃度約98%の「こうべバイオガス」の精製に成功しました。

平成18年に新世代下水道支援事業として認定を受けて施設整備を進め、平成20年4月から日本で初めて自動車燃料への供給を本格的に開始しました。1日に2,000m³（大型市バス40台分に相当）の燃料を供給することが可能となっています。

天然ガス（CNG）車の燃料として、カーボンニュートラルの「こうべバイオガス」を利用することで、CO₂削減による地球温暖化防止や化石燃料消費削減による持続可能な循環型社会の形成に貢献できるものと考えています。

